

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	立位が厳しくなっている御利用者のトイレ誘導について、二人介助でのトイレ誘導を努めているが、スタッフにより対応がまちまちで、徹底できておらず、パット上でのパット交換で済ませている場面が見受けられる。	・トイレに座る事により腹圧がかかってすっきりと気持ちのよい排泄が促されるという事を今一度スタッフ間で確認し、共通認識とする。	・スタッフ同士声を掛け合い、スタッフの手がある時はしっかり座って頂ける様徹底する。	12ヶ月
2	48	外出支援やレクリエーションについて、スタッフ一人一人の取り組みにばらつきがあり、偏ってしまっている所がある。	・御利用者それぞれが好きだったり得意だったりする事を話し合いまとめ、一覧にし、スタッフ間で共有する。 ・一覧に基づき、どの様なレクリエーションが最適かを個々の御利用者ごとに考える。	・スタッフ一人一人が、個々の御利用者に対して一日一つ、何らかのレクリエーションを行い、それを申し送りし、それぞれの御利用者にまんべんなく行えるようにする。	12ヶ月
3	35	チームケアに対する、スタッフ間の認識の違いがあり、統一ケアが行われていない場面がある。	・スタッフ間の密なコミュニケーションを図る。	・スタッフ個人の判断だけではなく、まず現場で疑問に思った事はスタッフ間で確認したり、相談を行う。 ・書いて伝えるだけでなく、口頭でも伝え、その事についての報告も徹底する。	12ヶ月
4	6	災害時の備蓄品の見直し。	・最低3日分の備蓄をする。 ・火災だけでなく、違う想定訓練も行う。	・御利用者が食べやすい形態の物に変更していく。 ・必要物品の見直し。 ・薬や御利用者情報等のリストの作成。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。